

## I 2022年度「史実と授業・啓発の結合をめざして」in久留米の報告

6月25日(土)久留米市環境交流プラザ大会議室で(14:00~16:30)開催しました。悪天候の中、79名の参加がありました。多数の参加、報告、ご意見ありがとうございました。迫本事務局長による問題提起「解放令から水平社創立までの間の授業をつくる」の後、報告①は関儀久さん(本研究所理事・プロジェクト研究員)による「感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験」でした。関さんは近代の資料を発掘し、医学者が部落差別を助長していた。科学の名を語りながら「新平民」への差別・偏見を助長するという研究報告でした。現在の「コロナウイルス感染症」に対する差別もつながるという面を指摘されました。(詳しくは、新刊の関儀久著『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』定価3,300円(税込み)をお読みください。(お求めは、<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>からできます)

報告②は松尾治利さん(久留米市学校教育課)による「久留米の商人 石本猪平さんの日記『諸国見聞』を授業にいかす」でした。松尾さんは、その古文書を活用した授業について提案されました。全体交流が不十分だったという課題も残りましたが、これからも各地で開催していきたいと考えています。開催したいと思われたら事務局にご連絡ください。

○感想から(一部抜粋)~報告①感染症と部落問題という視点から考えたことがなかったので新たな視点をもつことができた。時代の様子等は知ることができたがこれをどのように授業に生かしていくかはイメージをもつことができなかった。報告②子どもたちのこころにすんと落ちる授業案だと思います。自分の地域の資料だと子どもたちと教材が近くなります。この授業を6年担任に紹介してみます。

## II 部落問題部会

部落問題部会ができました。第2回部会が、7月15日(金)18:30から「福岡市立千代人権のまちづくり館」で行います。また、8月8日(月)10:00~16:00「福岡県ボランティアセンター(福岡県吉塚合同庁舎5階)」で一日研修会を開催予定しています。たくさんのご参加お待ちしております。8月8日(月)の一日研修会の詳細は、決まり次第ホームページなどで紹介します。問合せは、事務局まで。

## III 人権研究所の本の注文は簡単にできます。

人権研究所の本の最新刊は、下記に載せています。その他のバックナンバーもホームページを開くと右下に「書籍のご購入はこちら」をクリックすると見ることができます。本編集に昨年からかかかっていますが、一文一文の文章、本の装丁などに著者の思いとともに編集者のいい本をみなさんに届けたいという願いもこめています。ぜひ、ご購入を。

ニュース担当：峰 <会員登録がまだお済みでない方はHPからお願いします>

812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 ホームページ <http://www.f-jinken.com/>

tel 092-645-0388 fax 092-645-0387 email ; [info@f-jinken.com](mailto:info@f-jinken.com)

〔人権研究所の本〕

新谷恭明『校則なんて大嫌い！—学校文化史のおきみやげ—』

久米祐子『子どもから障害児を「分けない教育」の戦後史インクルーシブ教育とは—』

木村政伸『教室の灯は希望の灯 自主夜間中学「福岡・よみかき教室」の二五年』

関 儀久『感染症と部落問題 近代都市のコレラ体験』

☆お求めは⇒<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>